

## みなとくみんまつ かんそう 港区民祭りの感想

4班 孫其瑞さん (中国)

10月13日、港区祭り多文化カフェに参加してきました。朝10時から午後4時頃まで、日本の方々と楽しく話しました。

まず、色々な食物を食べられない男性と話しました。特に、彼はいくつかの日本料理を食べられない。だから、外食はあまりしません。大体自分で料理を作ります。彼は大阪出身です。話している間によく大阪弁で話しました。例えば、“食べへん、食べへん”。これは日本語を初めて勉強する外国人にとって理解するのがちょっと難しいと思います。

次に、かつて中国に行った男性と歓談しました。彼は中国語を話せます。挨拶した時に、彼は予想外に中国の主席の名前を話しました。私たちは驚きました。一般的に中国語で挨拶する際に、「こんにちは。」と言います。そして、別れる時に彼は「再会」と言いました。「再会」って正式に別れる場合によく使い、日常会話ではあまり使わないと思います。それでも、彼は中国語が上手だと思います。

昼休み中に先生と一緒に美味しい食べ物を味わいました。食べ物の種類が豊富です。焼きうどん、焼き鳥、おにぎり、たこ焼き等がありました。そして、ある先生はボランティアとして焼きうどんを作りました。焼きうどんを食べている時に、とても美味しく、先生は流石に焼きうどんを作るのが上手です。

午後、私たちは中学生と話しました。彼は日本の自衛隊に興味があります。将来、自衛隊に入隊することが彼の夢です。そして、彼は自衛隊に関する知識を教えてくれました。彼はなかなか優秀だと思います。私は同じ年齢で学校以外の物事を全然知りませんで

(特定非営利活動法人) 市岡国際教育協会 市岡日本語教室

●場所 港区民センター (港区磯路1-7-17 交流会館6階)

●日時 毎週金曜日午後7時から8時半

e-mail: info@ichioka-nihongo.org

URL: <http://ichioka-nihongo.org/> phone: 080-3846-2581

した。夢を叶えるように頑張って欲しいです。最後に、女性とそのお母さんと一緒に長時間話しました。私たちは港区夕凧に住んでいます。だから、近所の話題で互いに知っている事が多く有り話が盛り上がりました。私たちは頻繁に「知っている」と言いました。女性のそのお母様は料理がすごく上手だそうです。そのお母様の娘は何でも作れると感心しました。



話の中で一番驚く事は彼らが全部の交流カードを使用しました。交流カードは話す時に早く話題を探せるように使うものです。交流カードは全部で20枚ぐらいです。他の方々は2枚、3枚交流カードを使いました。彼女達は全部を使いました。交流カードには好きな食べ物、困ること、日本の印象、自分の将来といった多種多様なテーマがあります。交流の間に、共通点はたくさんがあるので、私たちは急に笑い出すことが多くありました。彼女達と話に花が咲き、これは本当に嬉しいです。

日本の方々と互いに話すことは貴重な体験だと思います。将来、もしもこのような活動があれば、私は必ず参加します。最後に、こういうイベントに参加させていただきまして、ありがとうございました。

# もち はつたいけん 餅つき初体験

2班 赵禹宣さん (中国)

12月15日(日)海遊館の近くの天保山商店会の「餅つき大会」に参加しました。私はその日、予定外の用事で遅刻してしまいました。会場に到着すると、すでに皆さん忙しく動いていました。私は、日本に来る前に皆の前でお餅を搗いていたのを見たことはありませんが、自分で餅を搗いたことはありませんでした。ということで、今回の餅つき大会を楽しみにしていました。先生からお餅作りはいっぱい事前の準備が必要だと聞きました。手順は1日前から餅米を水につける、米を蒸す、搗く、丸めるなどです。

蒸し上がった餅米をすぐに臼に移しました。臼に入れた餅米は初めは搗かずに、体重をかけて杵でぐいぐいと潰していました。3人で臼のまわりを回りながら均等に潰しました。みんなで1・2・3の掛け声をかけ、餅米を杵で叩きました。杵は思ったより重かったです。作業は楽しかったです。最後に温かいぜんざいをいただき、大満足でした。

中国では、お正月にお餅を食べるとその年の仕事が順調にいく、より幸せになると言われています。だから中国にいる時、毎年旧正月初日の朝、祖母の家に行っていました。家族みんなで集まってお餅を食



べるためです。日本人の食生活

は中国人と似ているところも

あり、違うところもありますが、

新年には餅を食べるのが習慣

になっているのは、おそらく、

餅を食べて、一年がより幸せになることを願っている



からでしょう。

## さどうたいけん かんそう 茶道体験の感想

— 10月18日・港区民センター —

2班 ニンシーさん (インドネシア)



日本に行く前に、祭り、生け花、お花見、折り紙、着物、茶道など日本の文化を色々学びましたが、日本に来て約2年半経ち、茶道に参加するのは初めてだったのでとても楽しみでした。お茶の淹れ方を直接見て、自分で実践するのがとても印象的でした。

穏やかで規律正しくエレガントな雰囲気にとても感銘を受け、とても思い出に残る経験となりました。

日本にいる間、他の日本文化について学びたいです。茶道に誘ってくれたボランティアの皆様に感謝申し上げます。他の日本文化にも参加したいと思っています。

## 新入生を募集中

市岡日本語教室は、金曜日に行っています。

時間 よる7時から8時30分まで

場所 港区民センター (交流会館6階)

時間や場所は変更することがあります。

最新の情報はホームページで確かめてください。

<https://ichioka-nihongo.org/schedule>